

10年後を見て動くこと

与沢翼 2017年最新版

第6話 短期投資実践編

第5話の要約

- 1、考え方を固めてから始めること(成功は頭の中でまず作られる)
- 2、通常ボラの相場における短期投資は、有利な位置を取得することが一番大切(そのためには何をもって有利と言えるのかを知ることから始めよう)
- 3、0ライン以上の勝負を積みあげること(ちょっと勝つか、大きく勝つかの2択に持ち込む)
- 4、0ライン以上にならない場合は、小さくカットして次の有利な位置まで待つ

本日は、この続きをお話するとともに、なぜ投資を学ぶべきなのか、なぜ事前に学習を始めて準備しておくべきなのか、について触れる。

本日のポイント

取得単価によって投資家心理が異なることを理解する

有利な位置を取れたら、0ラインを上抜けるまで見守る

0ラインを上抜けたら調整の幅を予見し、利食いされないラインを見極める

利幅が伸びたら、利益確定の確保のためTPラインを上げると同時に、さらなる上昇の可能性をも捨てる程度に間隔を空ける

トレンド継続中の調整なのか、下落転換の初動なのかは、形からは判別できないので、それ以外のファクターで判断する(抵抗があるかや下からどれほど進んだか(値幅)や上位のトレンドはどちら向きかなど)

トレンドは短期、中期、長期で見えて使い分けると正しくトレードできる

短期トレード上の材料についても、その意味は正しく理解しておく

詳しくは動画でお話します。

なぜ投資を学んでおくべきなのか？

投資というのは、確かにめんどくさい。

短期トレードには難易度が伴うし、長期投資はすぐには結果が出ないし。

だから、稼げる人なら、事業をやった方が良いと判断することが多いだろうし、普通の人なら仕事が忙しいし、そんな余裕はないよ、と思うのだろう。

だけど、これは間違いだと言える。なぜなら、事業で富を得ても、忙しい本業に従事していても、結局は、足し算の世界に戻るだけだからだ。これは「r」の住人になることへの怠慢であり、逃げであり、だからこそ「r」の世界の住人が少ない理由だと言える。

結局、足し算の世界に戻ったら、また、毎年足していっただけに戻る。表現が悪くご容赦願いたい、稼いではちびちびとまた貯蓄して、使ってはまた稼ぐの世界に戻ることになる。

足し算の世界では、一生で稼げる所得及び貯蓄額は、現時点でも、足し算で計算ができてしまう。夢のない世界。毎年1000万貯められる人が30年経過したら3億だ。最初からこの計算は既にわかっている。

確かに面倒でリスクもあるのだが、

投資の世界は、複利を細かく計算しないとどうなるのか判然としないほど、結果が大きくなる。

足し算の世界の住人「g」からは、とても理解しがたい結果になる。

後で、なぜこんなに差がついているのか知りたくなるものだが、その時にはもう遅い。

開始時点からの時の経過に従うので、どうやっても追いつけないようにできているからだ。だから私は、日々の本業や仕事、別の何かが大変でそれだけで手いっぱいであったとしても、時間を確保して、少しずつでも勉強していった方が良いと思っている。現に私自身勉強を続け、短期的にコツコツと稼いでは、資産を買い入れ続けている。

確かに1か月、2か月では、大差ないだろう。むしろ投資元本に回す分手元のお金は減っているように思うかもしれない。しかし、これが年単位で継続された時とてつもなく大きな結果になることが予めわかっている。

私の頭の中ではすでに私は成功している。

結果は後年になって出るから、後年わかってもらえば良いし、評価されるために、行動をしていないので、軸がぶれない。

多くの人が途中で辞めたり、元の世界に戻っていく中で、私は、少なくとも、ただひたすらに投資というものに情熱を注いでいる。

来るべき時を待っている

投資を勉強しておいた方が良い理由がもう一つある。

それは、金融市場には、定期的に調整が働くこと。

つまり、定期的に大きな暴落がある。しかし、そのタイミングは一瞬であり、たまにしかないということ。

その時、普通の人間が大金持ちになるチャンスだから、私は、その時をずっと待っている。

例えば、もし今年大きな暴落があったとき、あなたは何の銘柄を買うべきか決まっているだろうか？また、その時の資金は持っているのだろうか？

つまり、知識的な備えと軍資金の備えの2つがなければ、暴落を富に変えることはできないのだ。また、お金だけあっても何もできない。何をかうべきかわからないからだ。

今年でなくとも来年かもしれないし、2020年か、2025年かはわからない。だけど、必ずその日は来る。だから、私はその来るべき時に、投資の知識と経験、軍資金をもっている状態で、投げ売られた価値あるものを拾うために、今を過ごしている。

10年後を見据えて動く

今の私が成功しているというレベルなのかどうかはわからないが、少なくとも、10年前に、10年後を見据えて動いた結果が今になっている。

だから、今から10年後のために私は分野を絞り最も重要な投資というところから逃げない。

これまでのことを後悔し、反省し、今後10年に組み込んで生活している。

人生のど真ん中で投資に向き合い、10年後に大きな結果となっていると確信している。

10年後を見据えて動くことは確かに難しい。

どうしても、今日、今月、今年に関心がいつてしまう。

そうすると、行動が短絡的になる。

それだと来年もまた同じことをして、10年後も同じことをして、10年後の結果もさして大きくはない。はなから10年後を見据えて、10年後に結果が出ることを求めていけば、今日、今月、今年の動きががらりと変わる。そうすると、毎年景色が変わっていくことに気づく。

次回は、

米国株についてお話しておきたい。

GWBSの詳細についても触れたい。

2月8日朝6時から募集を開始する。

与沢 翼